

セグロセキレイ	大きさ：約20cm
	■解説 河川や湖の岸边などにすんでいます。水田や市街地でも見られることがあります。土手のくぼみ、河原の石や流木の下、屋根のすき間などに巣をつくります。 ■鳴声 チチウッピ、ツビビピッピッなど
モズ	大きさ：約20cm
	■解説 明るい林や人里にすんでいます。肉食性でバッタ、カエル、ネズミなどを食べますが、獲物を木の枝などに刺しておく習性があり、これをモズの「はやにえ」と呼んでいます。 ■鳴声 キーキチキチなど
ヒヨドリ	大きさ：約28cm
	■解説 林や街路樹、公園などの樹木などに幅広くすんでいます。昆虫や草木の実を食べ、花の蜜も吸います。 ■鳴声 ピーピー、ピーヨなど

注意：大きさは大まかな目安をのせています。

(4) ほ乳類・は虫類・両生類

「水辺の楽校いわた」周辺には、たくさんの小動物がすんでいます。ほ乳類では、モグラの仲間、ノウサギ、タヌキ、キツネ、イタチなど、は虫類では、イシガメ、カナヘビ、シマヘビなど、両生類では、ヌマガエル、ウシガエル、ツチガエルなどが確認されています。

誰の足あと？

水辺の砂地を観察してみると、動物の足あとが残っていることがあります。誰の足あとなのか調べてみましょう。

●タヌキの足あと



タヌキは雑食性で、水辺でカエルなどもとらえて食べます。

●イタチの足あと



イタチはおもに水際を移動し、ネズミや昆虫を食べるほか、小魚などをとらえて食べます。